



2025年8月22日

各 位

会 社 名 株式会社ウイルテック
代表者名 代表取締役社長執行役員 宮城 力
(コード番号: 7087 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役上席執行役員 渡邊 剛
電話番号 06-6399-9088 (代表)

当社グループ長期ビジョン「Future Vision 2035」策定のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年3月期から2035年3月期までの「Future Vision 2035」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

「未来を築く人財を育てる」ことを事業の根幹とし、当社の活動によって豊かな社会づくりに貢献することを長期ビジョンのスローガンに、さらなる成長を実現するべく、取引先、株主・投資家、地域社会、従業員などのステークホルダーとの協働により新たな価値創造に取り組んでまいります。

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

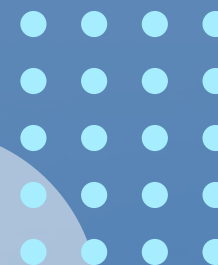
以上

WILLTEC GROUP

FUTURE VISION 2035

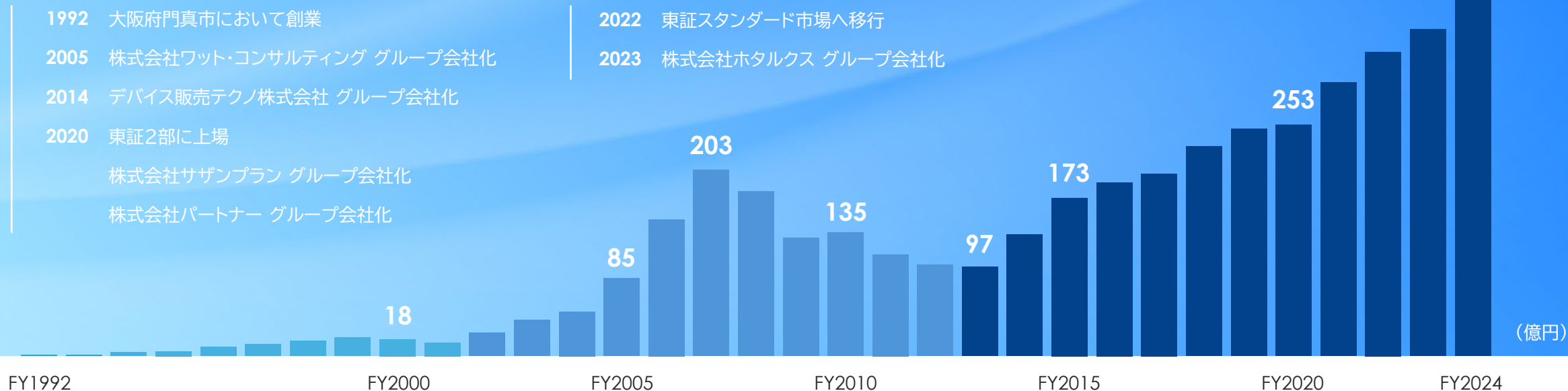
株式会社ウイルテック（東証スタンダード市場：7087）

2025年8月22日



Company History

売上高の推移と沿革



1992 大阪府門真市において創業

2005 株式会社ワット・コンサルティング グループ会社化

2014 デバイス販売テクノ株式会社 グループ会社化

2020 東証2部に上場

株式会社サザンプラン グループ会社化

株式会社パートナー グループ会社化

2022 東証スタンダード市場へ移行

2023 株式会社ホタルクス グループ会社化

1992-2002

創業期：地域基盤の確立

電気・電子機器製造業が集積する関西地区にて創業。製造請負事業を中心として事業を展開し、営業基盤を確立。

2003-2013

転換期：社会構造の変化

2004年の製造派遣解禁、2005年のワット・コンサルティングのグループ会社化により全国へ事業拠点を拡大。しかし、2008年のリーマンショックを機に顧客の海外展開が進み国内事業の転換期を迎える。

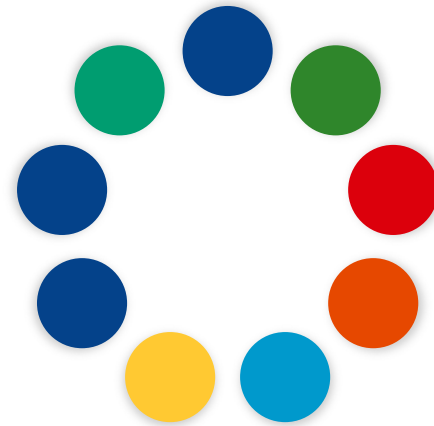
2014-2025

構造改革期：事業領域の拡大

2014年以降、デバイス販売テクノ、ホタルクスのグループ会社化によりものづくりサービスを深化、パートナーのグループ会社化によりIT人財サービスへと展開し、安定成長を目指した事業ポートフォリオへと構造改革を進める。

フィロソフィー

Philosophy



ウイルテックグループは9社からなる複合企業体へと成長しました。これまで各社が持つ技術力や独自性を武器に、業績向上に努め、企業理念の実現に向けて事業の発展を推進してきました。一方で、日々生まれる最新のテクノロジーによって目まぐるしく変化する市場環境の中で、既存のビジネスモデルだけで生き残っていくことは非常に厳しい時代だといえます。私たちは、これまで以上にグループ間の結束力を強固にし、相乗効果(シナジー)によって「市場競争力の強化」「イノベーションの促進」「ブランド価値の向上」を図ることで、常に市場の中で存在感を示し続けなければなりません。これまで通り個社の企業理念は大切にしつつも、グループが一体となって同じ方向を向き、同じ目標を目指して歩んでいくために、『WILLTECグループ Philosophy』を策定いたします。

人の可能性を発掘する

Discovering your potential

私たちは、個のキャラクターを尊重し、成長を支え、
「未来を築く人財を育てる」ことを事業の根幹とします。



「革新がもたらす豊かな社会」を共に創り出す

人々が持つたくさんの知識や技術を私たちの生活の身近に届けるために –
ウイルテックグループは、多様な機会を提供する「総合ソリューションカンパニー」として、
お客様と共にイノベーションを推進し、豊かな社会の実現に貢献します。



大切にしたい

Value

Company History

Philosophy

Future Vision

Capital Management

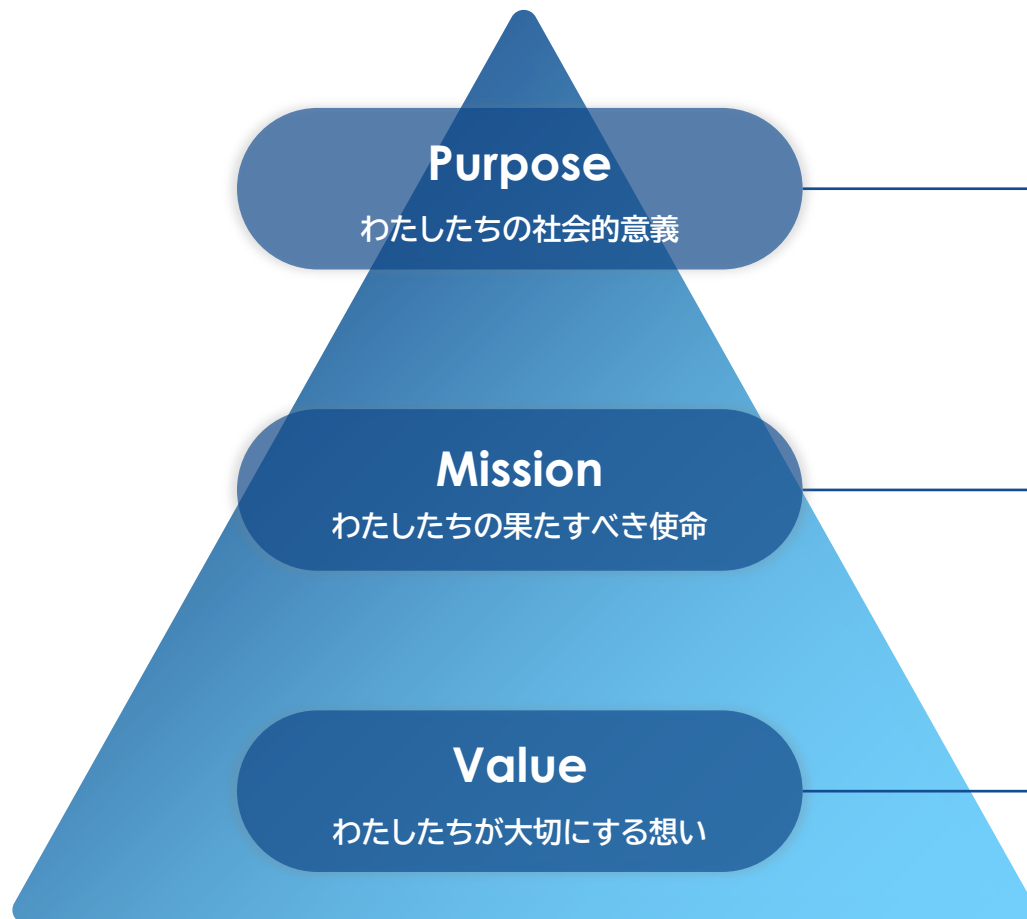
Sustainability

index

- － 絶えず学び、成長する
- － 自ら動き、機会を捉える
- － とともに知恵を出し、改善し続ける



Group Philosophy



人の可能性を発掘する

Discovering your potential

「革新がもたらす豊かな社会」を共に創り出す

- － 絶えず学び、成長する
- － 自ら動き、機会を捉える
- － とともに知恵を出し、改善し続ける

WILLTEC GROUP

FUTURE VISION 2035



事業コンセプト

Business Concept

企業の構造改革が進むなかで、裾野を支える技術やサービスにイノベーションを加え、発展的に活用

環境の変化

- Customer Environment -

技術革新とともに
生活や産業構造が変化



事業機会

- Business Opportunity -

見直される事業 そこにある技術価値の存在

昨今の市場ニーズや競争環境の変化に伴い、大手企業は事業構造の変革に着手しています。これまで幅広く事業を展開することで競争力を維持してきた企業にとっては、事業の見直しを進める必要性に迫られています。経営資源は限られているため、選択と集中を進めながら事業の再構築を図り、競争力を維持する方向に舵が切られています。しかし、その中には、これまで培った独自の技術や、事業を行う上でのノウハウ、そして多くの人の存在があります。この「技術価値」の存在に対して、新たなアイデアやサービスを提供することで顧客の競争力の一助となることが出来れば、事業の裾野を支える存在として大きな意味を持つことになります。この一連の動きを大きな事業機会と捉え、一つの事業コンセプトにしていきます。

Re-Design

既存の製品やサービス、システム、人が持つ技術などの機能や価値を見直し、改善し、組み合わせて、構築するプロセスを意味しています。当社は、ヒト・モノ・コトの本質的な価値を活かしながら、機能の生産性や効率性を高めるだけでなく、この「Re-Design」のプロセスを以って、変化する環境に適応するとともに、新たな価値サービスを創出していきます。

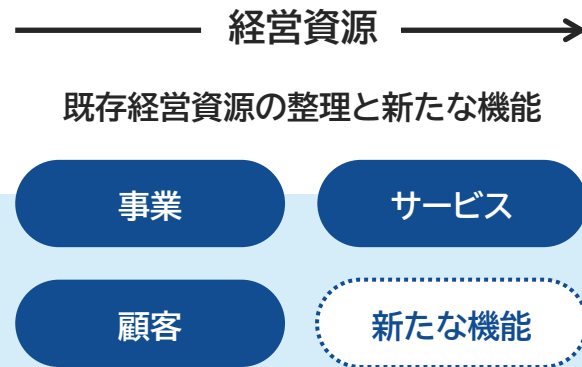
リ-デザイン

Re-Design

価値を見直すことで新たなサービスを創出

新たなサービス・市場の開発

経営資源の分解と掛け合わせ



01

機能整理と事業シナジーの創造

- 経営資源となる事業・サービス・顧客の整理
- 戦略的M&Aによるシナジー創出
- パートナーネットワークの拡充

02

資源の再構築による付加価値創出

- ヒト・モノ・コトの分解と掛け合わせ
- ナレッジの共有と事業プロセスの改善
- 強みの独自化と競争市場の再定義

03

コア事業の育成とポートフォリオの拡充

- 投資と成長サイクルの継続的実行
- 付加価値事業の社会実装
- 周辺事業の強化とシェア拡大

リ-デザイン 事業領域

Re-Design Business Field

経営管理の強化とグループシナジーの創出環境を生み出すために、マネジメントアプローチを再構築



リ・デザイン サービス

Re-Design Service

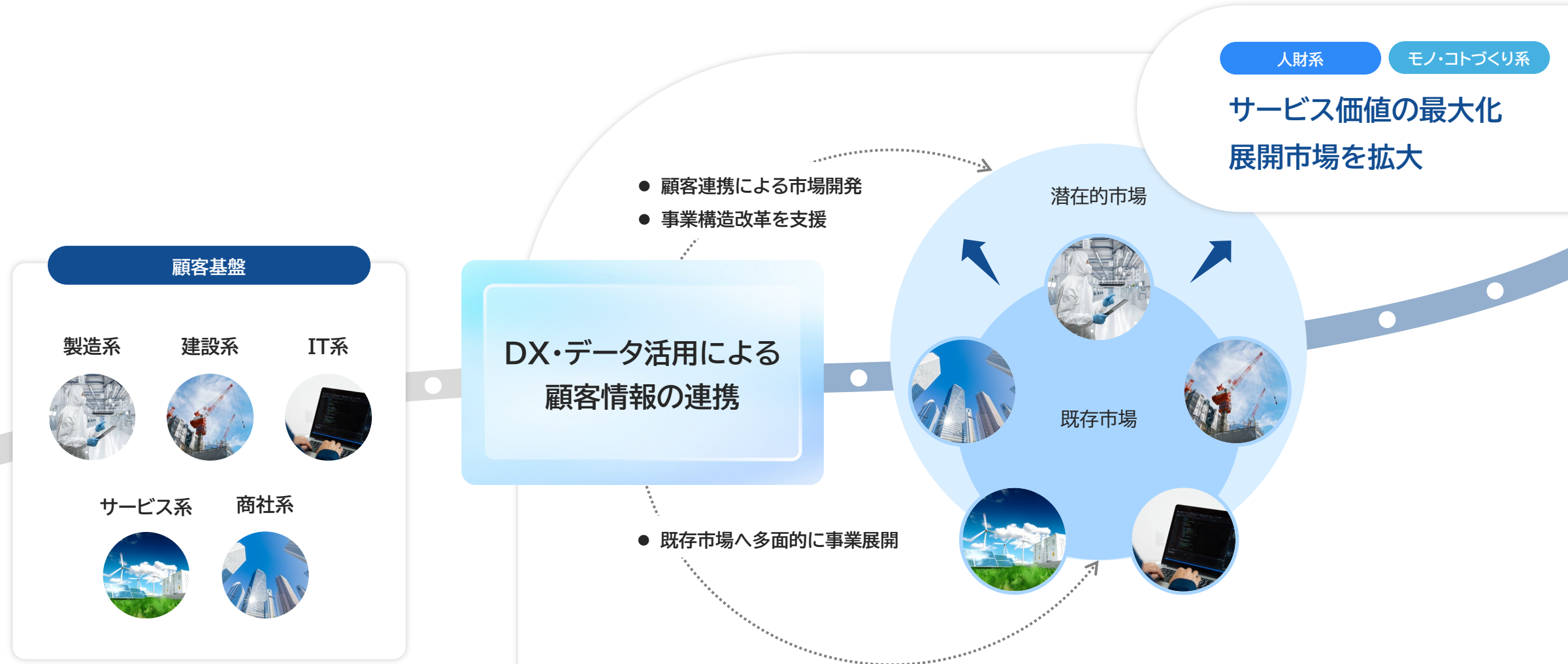
蓄積してきた経営資源を掛け合わせて最大化し、新たなサービスを創出



リ-デザイン 顧客(市場)

Re-Design Customer

マーケットアプローチを見直し、異なる分野での顧客基盤を連携し、潜在的な市場領域を拡充



Business Strategy

社会の変化に合わせて、事業活動の中心となる人財投資を継続し、事業領域を拡大

事業領域の拡大



社会課題 = 成長領域



一次産業



社会インフラ



ヘルスケア



環境・再エネ



AI・ロボット



教育

フューチャービジョン 2035

Future Vision 2035

事業の効率性を高めながら、今後のさらなる成長に向けた事業モデルの分散化をすすめ、幅広い市場ニーズを獲得し、多面的な事業成長を図る期間と位置付け

ありたい姿

持続可能な社会

×

Philosophy

選択と投資

各事業の成長フェーズに応じて
「投資と成長」のサイクルを展開し事業を拡充

事業モデルの分散化

成長源泉となる経営資源や
収益を安定確保できる環境を構築

2035年

売上高 1,000億円

経常利益 50億円

R O E 15%以上

現在

資本マネジメント

Capital Management

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

Future Vision 2035

PBR 企業価値向上へ

安定した財務基盤を元に、資本効率を踏まえた成長投資と構造改革により企業価値を最大化

ROE 15%以上

事業の持続的な収益力の向上

・ 事業ポートフォリオの再整備 ・ 成長分野への投資による売上高拡大

資本コスト抑制

・ CFアロケーションの再整備 ・ 最適資本構成の追求 ・ 株主還元の強化

PER 10倍以上

将来成長期待の醸成

・ 注力事業投資による新たな柱の構築 ・ 投資マネジメントの強化とポートフォリオ変革

マーケットとの信頼関係の醸成

・ 情報開示の拡充及び高度化などIR戦略の強化 ・ コーポレートガバナンスの強化

共に、ミライ

当社グループは次世代の育成と、地域との取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



農場運営

耕作放棄地の整備や、野菜等の生産物をこども食堂や地域へ提供



こども食堂

こども食堂に対して食材の提供や各種イベントの企画・運営



STEAM教育

従業員のこども向けにSTEAM教育の実施、教材の無償提供



地域社会

地域自治体との連携を強化し、地方での働き手を支援



子育て支援

育児休暇等を推進し、男女ともにワークライフバランスを充実化



障がい者支援

自分らしく活躍できる環境を創出し、社会活動への参加をサポート

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ウイルテック

情報統括部 広報・IR課 IR担当

e-mail ir@willtec.jp

URL <https://www.willtec.jp/>

将来予測に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社がその時点で入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待及び判断を根拠としており、実際の業績等は経済情勢、市場動向などの様々な要因により大きく異なる可能性があります。